

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区 大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL:072-875-1200
FAX:072-875-0590
E-mail:office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL:072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967年 12月 26日

- 会長 上田 正義
- 幹事 小川 芳男
- 会報委員長 杉原 巨峰

大東ロータリー会長テーマ

「今を生きる、そして未来につなげる」

2013年~2014年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーを 実践し
みんなに 豊かな人生を

国際ロータリー会長
ロン・D・バートン

平成 26年 3月 18日

No.2241 H26.3.11(No.2240の例会記録)

今週の卓話 (3月18日)

「新入会員経歴発表」

山田 伸 会員

次週の予定 (3月25日)

「春の交通安全週間について」

四条岨警察署 警部 毅 氏
警部補 西村 均 氏
巡查部長 小河 典生 氏
担当 中原 毅 会員

先週の例会報告

◆ 出席報告 (3月11日分)

会員数 42名 出席数 34名 欠席者 2名
特定免除 6名 その他免除 0名
出席率 94.44%

前々回 2月 25日分

ホームクラブの出席者 35名 94.59%
メイクアップの結果 37名
特定免除 5名 その他免除 0名
欠席者 0名 修正出席率 100.00%

ゲストスピーカー

関西医科大学枚方病院 眼科 永井 由巳氏

今月のテーマ

「識字率向上月間」

ロータリーソング

「日も風も星も」「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

裏面に記載



皆さん今日は 例会出席ありがとうございます。

3月は識字率向上月間です。ロータリーの6つの重点分野の一つに指定されております。

我が国日本では、ほぼ全国民が読み書きできますが、まだ世界では基本的教育と識字能力習得が受けられない国、地域がまだまだ沢山あります。



我が国では、義務教育が当然であり大学進学率も現在では90%越えております。学校で学べるありがたさが子供達には薄い現在であります。保護者も当然のように思い中には、給食費も払わない親も出る始末です。この間テレビを観てみますと、世界で一番学校に行きたい国はとクイズが出まして、1位はインドネシア、その他東南アジアの国が上位を締め、日本は最下位の47位でした。この様な現状では益々国内で教育格差が大きくなるかと心配であります。世界の国々からも学力の差が益々開いていきます。国の基本は教育であります。

また、学校の教育も大事であります、人としての教育も国の将来を考えますと重要であると思います。我が民族が紡ぎ続けてきた美質は今やどこに行ってしまったか。日本民族が長い時をかけて磨いてきた美質は今やどこにもありません。戦後まちがった民主主義が日本の教育を駄目にしていないでしょうか。しかしまだ日本人は世界の人々から見ると、礼儀正しく、秩序を守り、他人に対しての思いやり、の国民であると絶賛されております。3年前の今日発生しました3月11日東北大地震で世界に流された映像を世界中の人々が観て「素晴らしい国民である」と絶賛されました。神戸・淡路大震災の時も同じように報じられました。まだまだ遅くはありません。その為には我々ロータリアン一人一人が何をすべきか、何かが出来来るはずで。まず家族の中で、教育について話しをしましょう。そして地域に広げましょう。そして国中に広げましょう。論語の中にこの様な言葉があります。

「人にして遠き慮り無ければ、必ず近き憂いあり」

遠い将来を見通した生き方していなければ、近い将来困ったとことが起きてしまうという事です。ロータリーも今日の続きとして明日があり、明日の続きとして明後日があり、その延長線の上に将来が築かれています。その将来がいかにあるべきかをしっかり考えながら、1日1日を大切にすごしていきたいと思っております。

これで会長の時間終わります。

ありがとうございました。





委員会報告

◎ニコニコ箱委員会

東野 喜次 委員長

- | | |
|--|---------|
| ・結婚記念日 自祝 | 加藤 敏明 君 |
| ・結婚記念日 自祝 | 小川 芳男 君 |
| ・結婚記念日 自祝 | 橋本 正幸 君 |
| ・結婚記念日 自祝 | 田川 和見 君 |
| ・結婚記念日 自祝 | 東村 正剛 君 |
| ・結婚記念日 自祝 | 中嶋 啓文 君 |
| ・結婚記念日 自祝 | 徳山 泰之 君 |
| ・誕生日 自祝 | 池田 實 君 |
| ・入会記念日 自祝 (2月) | 安田 智洋 君 |
| ・例会出席ありがとうございます 感謝 | 上田 正義 君 |
| ・例会欠席お詫び | 高島 登 君 |
| ・木村さん、東村さん、森岡さん、お世話になりました
ありがとうございます 感謝 | 杉原 巨峰 君 |
| ・次女が高校卒業しました お世話になりました 感謝 | 佐藤 多加志君 |
| ・森岡くんゴルフデビューおめでとうございます | 木村 克己 君 |
| ・自動車事業部を新たに開設すると共に本社を移転しました
東村会員、森岡会員には大変お世話になりました 感謝 | 中野 秀一 君 |
| ・中野さん新社屋移転おめでとうございます
お世話になりました 感謝 | 東村 正剛 君 |
| ・日曜日のゴルフ優勝しました 又、東北に思いを寄せて! | 東野 喜次 君 |
| ・杉原さん、木村さん、東村さんありがとうございました | 森岡 信晶 君 |
| ・中嶋 SAA 大変お世話になり、ありがとうございます 感謝 | 山田 伸 君 |





◎米山奨学委員会

大東 弘 委員長

米山奨学生 シュレスタ・リエさん

「 私のふるさとネパールと私が見た日本 」

この世界のすべては GIVE AND TAKE 。何かを得た以上は何かをお返ししないといけない。大東ロータリーの皆様には一ヶ月に一回とお会いすることは少ないのですが、毎回毎回、“がんばってね” “学校どう？” “がんばってる？” とお声を掛けてくださり。



例会での卓話の時間は新しい知識を知ることが出来、毎회가とても楽しみです。皆様、独特の世界をのぞかせて頂いています、代わりに私も自分の世界を皆様と共用したく、私が見える日本というテーマで伝えようと思いました。

まずは、私の国を知っていただきたく。ネパールの素晴らしさとその裏に隠れている現実を紹介します。日本の3分の1と言う大きさ 14.7km² にもかかわらず 83%が山岳か兵陸地帯、自然が豊かな国であるネパールは私の誇りです。インドと中国と言う大きい国には含まれているのにもかかわらずネパールは貧困大国です。ネパールに行かれた方は知っていらっしゃる通り児童労働がとても多く見受けられます。日本の義務教育はとても素晴らしいです。例え義務教育制度がネパールにあったとしてもそれを続けることが出来ません。その理由はネパールは子供が働きに出ないと収入がなく 1日1食だって食べれない家が多いからです。家庭により経済事情で文具すらも買えない山岳地帯の子どもは家事手伝いが優先されてしまいます。親がネパール語の読み書きができないのも教育が大事と思わない一つの原因です。子供は素直です、そのために親は売春に子供を売ることもします。学校へ行きたくても行けない子がたくさんいます。現在、ネパールでは 2600 の学校があります。現在、2万6千の学校 415 個の高校があります。ところが就学は減っています。小学校は 91%でも中学校、高校と数値が 36%と半分以下に下がっています。小学校に入るのが無料でも中学校高校となっていくと経済面で支えられなくなってしまったり今を生きるのに必死なのにお金払って学校に行かせる意味が理解できなくなってきました。

もしも！！ 国語はネパール語だけでなく民族の言葉でも教えればいいのではないかといえ提案を考えました！ しかしこれだけでは経済的な面では何も変わらない、





やっぱり生きる上でお金は欠かせないと思います！そのため、私の夢は私が今所属しているロータリーのように子どもたちをバックアップして応援する勉学の強い味方になりたいです！！でもこれだけで終わるのではなく未来の国を作る子たちにたくさんの可能性を持たせてあげたいです。

ロータリーの奨学生として1年お世話になりました。一番印象に残ったことは毎回、例会で行われる四つの体操です。最初は意味がわかりませんでした。ストレッチの合言葉なのかなと思っていました。でも何事にも関心を持つように決めたある日、調べてみることにしました。

真実かどうか？皆に公平か？好意と友情を深めるか？皆のためになるかどうか？改めて考えてみるととても深いことが伝わってきました。人生のノウハウなのかなと思いました。社会では学校と違い手取り足取りを教えてくださいません。何事も感心を持たないと気づかないことのほうが多いということがわかりました。また、大学での勉強にも人と人とのかわりにも私はこの4つのテストを思い出すように心がけました。そして毎回の例会には先月起きた出来事を振り返り、新しい明日からの目標を定めることも出来ました。

新しいこと、何事も進める前少し立ち止まり考えてみようと思います。



●ラナンキュラスとは●

ラナンキュラスは、紙のように薄い花びらが幾重にも重なった姿が美しい春の草花です。花色は赤、ピンク、オレンジ、白、黄色など豊富で、大輪種では直径15cmにもなります。

(別 名) ハナキンポウゲ
(性 質) 半耐寒性 球根植物
(花言葉) 「晴れやかな魅力」

【ラナンキュラス栽培のワンポイント】

- ◇日当たりのよい場所で育てる。
- ※凍結や霜に合わなければ戸外でも越冬できるが、ベランダなど風の当たらない場所のほうが無難。
- ◇土の表面が乾いたらたっぷりと水を与える。
- ※乾燥させると葉がしおれ、過湿にすると球根が腐って株がダメになる。
- ◇球根は梅雨で腐りやすくなるので、掘りおこして保存。
- ※花後に葉が黄色く枯れてきたら球根を掘り上げる。





「加齢黄斑変性症について」

関西医科大学附属枚方病院准教授 永井 由巳 氏

担当 小林 誉典 会員



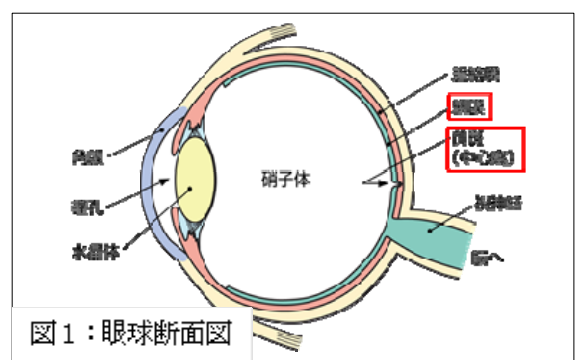
「加齢黄斑変性（かれいおうはんへんせい）」という目の病気は、最近でこそ新聞やテレビで取り上げられることが多く、また iPS 細胞による臨床化の先駆けとして臨床試験を開始することになった注目度が高い疾患です。

ただ、目の病気の中でも目ばちこや白内障、緑内障などと違って、加齢黄斑変性は聞き慣れない病気かもしれません。まず「黄斑」とは何ぞや？と思われる方が多い様です。「黄斑」とは、眼球の内面に広がる網膜というカメラのフィルムに相当する神経膜の中央部を言います(図 1)。この黄斑部に加齢性変化が主な原因となって視力などの視機能障害を起こす病気を「加齢黄斑変性」と呼んでいます。

この加齢黄斑変性は、元々欧米に多い疾患でしたが、昨今では日本でも増加傾向です。現在、国内の後天性失明原因疾患の中でも、糖尿病や緑内障、網膜色素変性症に続いて第 4 位と罹患患者数は増加の一途にあります。

原因としては加齢が一番に挙げられますが、それ以外にも多くの原因が考えられています。これまでの臨床研究から加齢黄斑変性になる危険因子として証明されているものにタバコが

あります。あと、過度の紫外線、偏った食生活（脂肪の過剰摂取、野菜などの不足）、肥満も原因として考えられています。この他に性別（日本では男性に多い）、人種





(白人に多い)、遺伝的背景なども原因とされていて、これらの様々な原因が複合して起こってくる多因子疾患と考えられています。

加齢黄斑変性にかかると、視力が低下する以外にもいろいろな症状が出ます。初発症状としてよく起こってくるものが「変視症」です。「歪視」とも言います。これは真っ直ぐなものが波打って見えることが多く、視力が下がる前に生じやすい症状です(図2)。進行してくると、コントラストの低下や、中心暗点といった症状も認めるようになります。加齢黄斑変性は「萎縮型(いしゅくがた)」と「滲出型(しんしゅつがた)」との二つに

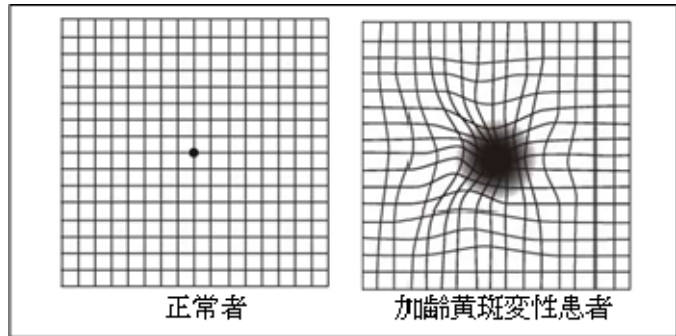


図2：アムスラーチャート

分類されます。日本人に多く、患者数が増加しているのは「滲出型」です。「萎縮型」は日本人には少ないタイプですが、こちらは治療法がなく経過をみていくだけの状態です。

今、積極的に治療を行えるのは「滲出型」の加齢黄斑変性となりますが、先ほど記載した症状を自覚するようになったら、早めに眼科医の診察を受けましょう。何事も「早期発見・早期治療」が肝心です。診察の結果、眼底黄斑部に網膜剥離や出血があれば専門医がいる病院へ紹介となります。紹介先病院で診察を受け、更に血管造影検査や光干渉断層計(OCT)といった検査から、加齢黄斑変性かどうかの確定診断が行われます。

現在、「滲出型」加齢黄斑変性に対しては、滲出型加齢黄斑変性でみられる脈絡膜新生血管という異常な血管を閉塞させる「抗血管新生薬療法」が主に行われています。現在国内で投与できる薬剤は3種類ありますが、一定の効果があり視力を改善させる効果も認めています。この治療では、薬剤を直接眼内に注射しますが、最初は1か月に1回の割合で3回連続投与します。その後は、各々の落ち着き具合によって注射を続けるか経過観察に切り替えるかということになります。



この治療で、少なくとも治療前の見え方よりも悪化していない症例と改善した症例とで80%以上と、これまでの直接治療を行わなかった加齢黄斑変性の視力予後が大きく変わりました。ただ、この治療が万全というわけではなく、経過観察中の再発や薬剤に反応し





ない症例もあります。それぞれの症例に応じた治療計画を主治医とよく相談していただく必要があります。

今後の展望として期待できる治療に、iPS 細胞による再生治療があります。あの山中伸弥京都大学教授がノーベル賞を受賞された研究内容の iPS 細胞を応用した網膜再生治療です。iPS 細胞を臨床応用するべくいろいろな疾患で研究が進められていますが、この加齢黄斑変性が iPS 細胞を用いた初の臨床試験となり、神戸の理化学研究所で進められています。治療の内容としては、患者さんの皮膚から採取した細胞から iPS 細胞を作成して患者さんの網膜内に移植することで視機能の改善を目指すというものです。まだ承認を得るまでには 10 年ほどかかりそうですが、今後期待できる治療です。

加齢黄斑変性の患者さんは増加傾向ですが、普段から予防に努めることも大切です。発症を予防する上で最も重要なのは禁煙です。喫煙者の方が加齢黄斑変性になる頻度が高いことがアメリカで証明されています。これまで吸っていた人も今後の発症を予防するため禁煙をおすすめします。あと過度の紫外線を避けるようにしましょう。紫外線、特に青色光は黄斑部網膜を傷害することが分かっています。その青色光を吸収して網膜を保護するためにルテインという色素が網膜には分布していますが、年齢とともに減少します。ですので、ルテインを積極的に摂取（ケール（生）ほうれん草（生） レタス（生） ズッキーニ（生） とうもろこし（ゆで） さやいんげん（ゆで） 全卵（生） オレンジ（生） トマト（生） など）する様にし、紫外線から目を保護するためにサングラス（色は濃くなくてもいいので）をかけるようにしましょう。ルテインに関してはサプリメントなどで摂取することも可能です。また、発症しかけの際は自覚症状が出にくいので、片眼ずつ見え方に変わりがなければ自分自身で確認することも大切です。

加齢黄斑変性は今後も増加しそうな疾患です。発症して治療で病気の進行は止めることは可能になってきましたが、再発する人も珍しくありません。また、片眼に発症した人の反対側にも発症する人が全体の 3 割～4 割あります。そういう意味でも継続的な眼底検査は重要です。もし、見え方に異常を感じられたら、お近くの眼科医にご相談ください。

